

神奈川青音祭



大本山光明寺法主柴田哲彦台下御染筆

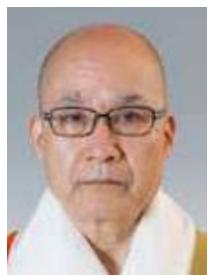


寺集 ~てらつど~ にて

柴田台下・会長挨拶	2
他宗団見学報告	3
寺集 ~てらつど~ 報告	4
各組紹介	6
事業報告	8
卒業会員挨拶・新入会員紹介	11
平成27年度事業計画	12

第22期テーマ
「深諦善念」
～じんたいぜんねん～

第20代会長 伊藤 知道



未来へ向つて

—実義・練磨の義を根幹としながら—

大本山光明寺法主 柴田 哲彦 台下

一昨年、平成二十五年に、神淨青が創立されて目出度く四十周年を迎えたことは、まだ記憶に新しいところであります。

その記念誌『神淨青創立四十周年記念誌』に詳述される内容を見るまでもなく、その輝かしい歴史の重みを感じると共に、他方、現在の神淨青が、新しい時代に即応した活発な活動を展開されている現況をみると、誠に感心する所である。

教区の未来は、正に神淨青及びそれを構成している会員諸師の双肩にかかるといふことを実感いたしました。

周知の事柄でありますと、おける寺院や宗門及び宗門人を取り巻く環境は、きわめて厳しいものであります。

例えていうならば、現代人における死生観の変化、葬送儀礼に対する変化、対寺院についての変化等々、十年前に

は想定し得なかつた諸問題が、我々の周囲を取り巻いております。

改めて、私達の在り様が厳しく問われる時代が到来したといつても過言で無いであります。

このような現実を迎えて、我々の取り組むべきことは、一つ。一つ目は宗祖説示の正義すなわち実義に直参すること。

二つ目は練磨の義すなわち正義を更に掘り下げたり、現代人に解りやすく解釈して、実義に導くことであります。

寺院の住職が老年ならば老年が、壯年ならば壯年が、青年ならば青年が、その寺に多く集うという。

次代を背負う青年を教化しやすいのも淨青世代であります。自行・化他・和合を旗印とし、実義と練磨の義とに邁進し、更に精進していくたくまです。

例えていうならば、現代人における死生観の変化、葬送儀礼に対する変化、ことを念じて止みません。



「深諦善念」

（じんたいぜんねん）

第二十二期淨土宗神奈川教区青年会
第二十代会長 伊藤 知道

第二十二期淨土宗神奈川教区青年会も一年の歳月が経ちました。

昨年度を振り返つてみると、大変訃報の多い年であります。平成二十六年四月に現役会員である京浜組大徳寺村上誠司上人が、また七月には当会顧問である大本山光明寺第百十二世法主宮林昭彦台下が御遷化され、十二月・三月にもOB会員が次々と御遷化されました。しかし、不幸ばかりの年ではなく、新たに大本山光明寺法主に就任されたのは、神奈川淨青第二代会長を務めた柴田哲彦台下であります。当会も新たに柴田台下を顧問にお迎えし、宮林台下やOBの方々、村上上人の遺志を持って、新たな決意をする年であります。

昨年度は主な事業としまして、「他宗団見学」「てらつど」を開催いたしました。「他宗団見学」は鎌倉五山をすべて参拝しました。普段、鎌倉に訪れる機会が多い我々ですが、他宗の本山や寺院に行くことはあまり無く、座禅体験や貴重なお話を聞くことができたことは、良い研鑽になりました。そして、二十名位の参加人数を予想しておりましたが、毎回三十名以上の会員に参加を頂いたことは、大変うれしくおもておりました。また、もう一つの大きな事業であります「てらつど」ですが、平成二十七年三月二十八日に開催し、二千名を超える方々にご来場頂きました。テーマに「集まろう、つながろう」を掲げ、今回は「お寺らしい、僧侶にしかできないこと」

を企画し、実行委員会を中心には会員一人ひとりが、自分のできることを最大限度に發揮してくれました。

今年度の事業は、昨年度と同様に「他宗団見学」と「てらつど」を開催いたします。「他宗団見学」は年二回、「てらつど」は現実行委員会を継続して開催します。また、来年度に「淨土宗関東ブロック青年会スポーツ交流大会」が神奈川教区担当にて開催が予定されていますので、その準備委員会を今年度中に立ち上げます。

また、今年度は「これから神淨青」について改めて考えていくとおもつております。会員の減少、それに伴う会計の負担、災害救援規定の見直しや義援金・救援金の使用方法、会則の見直しなど、現在の運営状況を鑑みて、将来的に問題になるであろう点を放置せず、それを見据えることによって、「これから」がみえてくるかとおもいます。諸先輩・会員のみなさまにおかれましては、何卒、御意見・御協力をお願ひいたします。

今期のテーマは「深諦善念」であります。今の自分の現状をしっかりと把握し、持てるものすべてを出し尽くして、淨土宗の青年僧として何ができるかを考え行動する。どの様なことに對しても、できない理由を考える前に、できる方法を考える。このことを念頭に置いて頂き、今年度二年間、神淨青会員百名、皆で「歩歩歩んで参りたい」とおもっています。よろしくお願ひ申上げます。

合掌

他宗団見学報告

事務局長 石川 仁恵

前年度事業といたしまして、鎌倉五山を巡る「他宗団見学」を二回開催いたしました。

第一回目（平成二十六年九月十七日）では、円覚寺・淨智寺の二ヶ寺を参拝させていただきました。円覚寺では、普段見ることができない国宝の舍利殿や梵鐘を拝観し、また、現在も雲水が修行している道場についても丁寧にご説明してくださいました。

第二回目（平成二十七年一月十九日）では、建長寺・寿福寺・淨妙寺の三ヶ寺を参拝させていただきました。建長寺では、増上寺から移築された仏殿をはじめ、多くの伽藍や雲水の厳しい修行生活の内容をお聞きし、また短い時間ではありますが座禅体験もいたしました。他宗のさまざまなお話しを聞くなかで、改めて自分の浄土宗僧侶としての指針を振り返ることができました。

鎌倉には、大本山光明寺を筆頭に、多くの浄土宗寺院があるにもかかわらず、他宗の寺院に参拝する機会がありませんでした。懇親会では、参加した会員それぞれが多くのこと学ぶことができたと話題となっていました。

「深諦善念」をテーマに掲げる最後の年となります
が、神淨青の今年度事業でも、「他宗団見学」を開催いたします。今年度の神淨青会員は百名と年々少
なくなつてきておりますが、各会員が一丸となって、繋
がりを作るとともに、多くを学び、その経験を自坊
での檀信徒の布教の糧としていけるように邁進してい
きたいとおもいます。



「てらつど」

報告と展望

実行委員長

大谷 慈通



だけで十七回を数え、その他にも担当ごとに集まり準備を行いました。

三月二十八日、天気に恵まれ、開花した桜に誘われるよう予想を超える多くの来山者が訪れました。参加して頂いた演者、出店者、来山された方々、みんなが笑顔で楽しんでおられました。そして、写経・別時念仏会・諸堂参拝ツアーやお話コーナー・バザー・エア書道・雅楽演奏・稚児礼讃の式衆など、参加した净青会員みんながすばらしい笑顔でした。

ある女性が帰られるときに山門で、「若いお坊さんと色んなお話ができる本当に良かった。是非またやってください。」とおっしゃってくださいました。この言葉ひとつで、この「てらつど」成功だったなど嬉しくおもいました。

「集まろう、つながろう」をテーマに神淨青四十周年の記念事業として開催した「てらつど」。あの成功に神淨青会員のみならず、来山された方がお寺に集まつた人々とお互いにつながる素晴らしさ・楽しさ、またお寺が担える様々な可能性を大いに感じたことでしょう。伊藤会長が第二回の開催を決めたのも内外からの期待の声があつたことが理由のひとつです。

今日は前回を引き継ぎつつその経験を活かし、反省点を反映していくことが大事になつたわけですが、今回、力を入れたのはお寺らしい青年僧主体の企画でした。

古屋道正、石川基樹副委員長、竹石光流事務局長をはじめとし、熱い思いの委員一人人が様々な意見・企画を出し合い、打ち合わせを重ねました。わずか十ヶ月の間に委員会

「てらつど」は青年僧一人一人の何かをしたい、しかし「人では何をして良いのかわからない、また一人ではできない、そんな思いの実現の場になり得る事業です。今年度も伊藤会長は「てらつど」を継続事業として開催することを決断されました。青年会にいる今だからこそみんなでやりたいこと、できることを「てらつど」で経験して、将来にまた自坊での教化活動に役立てていけるようにして頂ければとおもいます。





各組紹介



京浜組



会長 専修 大志

私が京浜組青年会会長に就任して一年が過ぎました。振り返ってみますとたった一年とはいえ、多くのことがありました。

何よりも平成二十六年四月に村上誠司会員が、そして平成二十七年二月に加藤光成賛助会員が、ご遷化されたことは寂しく、残念なりません。

平成二十六年度の最も大きな事業は、平成二十七年二月に開催しました神奈川教区長杯争奪スポーツ交流大会でした。日程や会場の都合上、例年と異なり、冬にとどろきアリーナを利用しての開催となりました。室内のためソフトボールはできず、種目をどうしようかとみんなで思案す。



会長 大谷 宗通

平成二十六年度の事業は柴田哲彦台下による布教研修会を四月、五月、六月、七月、八月、九月、十月、十一月、十二月、一月、二月の計八回、高座組と合同の塩澤智彦先生による法式研修会を六月、三月の計二回行いました。また鎌倉組と合同の當間浩昭先生による法式研修会を十二月に行い、その後忘年会を催しました。

平成二十七年度の事業計画は前年度同様に布教研修会・法式研修会を行う予定です。そして、九月には高野山へ参拝旅行を計画しています。



あります。いよいよ『勅修法然上人御伝全講』最終巻に入り大詰めを迎えております。参拝旅行は高野山へ参り、その空気を肌で感じ、自己の研鑽に役立てられればとおもいます。

今年度、港南組から県淨青へ、金台寺の奥田堯應上人、淨念寺の橋下祐香上人、来迎寺の安田裕美上人、西立寺の山澤真弘上人の四人が入会し、現役会員が計十八名となりました。年齢的にもかなり若返りが進みますので、今後、その若い力が出しやすくなり、事業にも積極的に参加できるよう環境、雰囲気づくりができると考えています。

港南組

していったところ「運動会をやつてみたい」との声があがり、検討の結果、ソフトバレー・ボール、大玉ころがし、綱引き、組対抗リレーの四種目による大会を企画することになりました。我々にとって初めての取り組みであったため、打合わせや会場の下見は合わせて二十回を超えるました。大変でしたが、活発な意見交換がなされ、一致団結して取り組むことができました。その分大会に参加いたしました皆様にも楽しんでいただけたものとおもっています。

今年度の事業はお十夜に関する勉強会の実施を中心とし、また会員間の親睦を深め、充実した活動にしたいとおもいます。本年もよろしくお願ひします。

港北組



会長 水谷 龍也

港北淨青会長を務めさせて頂いております龍安寺・水谷竜也です。

今年度も引き続きよろしくお願ひ致します。

昨年度は、廣本榮康先生・塩澤智彦先生・夏見裕貴先生による法式の講義を三回、林田康順先生による法話の講義を二回、計四回の例研修会と、港南淨青との合同研修会では宮内楽部より大窪康夫先生をお迎えし雅楽の朗誦『嘉辰』をご講義いただき、合計五回の研修会を開催いたしました。いずれも実りある研修となり、また、よい交流ができました。

今年度はいよいよ神奈川教区長杯スポーツ交流大会の開催組という大役を担う年でもあります。

す。会員みんなで試行錯誤しながら、良い交流の場を提供できるようがんばってまいります。

事業計画といたしましては年間四回の定期研修会を予定しております。研修内容は大正大和学で教鞭をとらっている山梨教区円通寺・曾根宣雄先生に浄土宗学を中心とした基本的な教義についての

ご講義をお願いいたしております。事業計画といたしましては年間四回の定期研修会を予定しております。研修内容は大正大和学で教鞭をとらっている山梨教区円通寺・曾根宣雄先生に浄土宗学を中心とした基本的な教義についてのご講義をお願いいたしております。事業計画といたしましては年間四回の定期研修会を予定しております。研修内容は大正大和学で教鞭をとらっている山梨教区円通寺・曾根宣雄先生に浄土宗学を中心とした基本的な教義についてのご講義をお願いいたしております。

高座組



会長 大谷 慎通

昨年度は継続事業として塩澤智彦先生による法式研修会を港南組と合同で二回開催しました。今までは高座組単体での研修会でしたが、近年の会員数減少対策と港南組との交流も併せて昨年度から合同で開催させて頂いており、今年度も引き続き行う予定です。

また神淨理事会がある度に、その報告会を兼ねた別時念佛会を会員の寺院を会場として持ち回りで行い、年末には高座組恒例の三部経輪読を勤めました。家族親睦会はOB諸先輩のご家族も参加され盛大に行われ、また秋には美作誕生寺など法然上人ゆかりの地を中心に訪ねる研修旅行も先輩方をはじめ、多くの会員の参加があり親睦を深めることができました。



そして、おめでたいことでは五月に鈴木崇仁会員の結婚と、十一月には久富亮弘会員の伝宗伝戒道場成満がありました。

今年度は昨年同様の事業を行つ予定です。研修旅行は大本山善導寺を中心にして計画しています。また今年の暮れは一部經輪讀ではなく、一千札挙を行います。他組会員のご参加もお待ちしています。理事会報告を兼ねた別時念佛会、家族親睦会も継続して行つります。昨年度をもちまして上田真彦上人、鷺見宗信上人が卒業りますが、今年も「自行・化他・和合」を信条として活動をしていきます。





鎌倉組

長
伊香輪 一曉

今期も引き続き鎌倉組青年会会長を務めさせていただきます伊香輪暁です。鎌倉組は昨年度で當間伸行上人、吉田佳之上人、成實洋史上人、岩瀬弘昌上人、野中篤道上人の五名が卒業されました。長らく鎌倉組を支えてくださった先輩方が一気に五名も抜けてしまっては、大変な痛手でありますし、淋しい限りでございます。

またすでに活躍されていますが、昨期途中から新入会員としまして宗円寺・富田昭久上人を迎え、本年度は計十五名で活動してまいります。昨年度は一泊二日で宝塚神戸方面に研修旅行へ行つてまいりました。普段馴染みのない真言三宝宗の大本山・宝塚清荒神清澄寺を参拝させていただき実りある研修となりました。

中
郡組
佐々木 元洋

に別時念仏会、さらに琉球神道を学ぶため沖縄研修旅行を企画しています。
以上、本年度もよろしくお願ひします。



今期の事業としましては、継続事業であります港南組と合同で、柴田台下に御講義いたしております「勅修御伝」の経典講読研修会、同じく港南組と合同での法式研修会および忘年会、また三浦組と合同で開催する歳末助け合い托鉢、研修旅行等を予定しております。

会員減少が続く鎌倉組青年会でございますが、会員一人一人のご協力をいただき、無事に務めたいと考えておりますので、ご支援・ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

三浦組は昨年度に光徳寺 清水光司上人、福本寺 山本宗純上人のお二方の先輩がご卒業されました。新たに福泉寺 松原大悟上人が入会され、今年度は総勢九名にて活動してまいります。

事業計画としましては例年通りの暑気払いを兼ねたBBQ大会、昨年同様の法式研修会、組内で行われる法話研修会への積極的参加、および鎌倉組と合同での歳末托鉢を規定行事として、さらに本年は隔年で行つて海外研修旅行を行つてまいります。

昨年は本会始まって以来の「スポーツ交流大会

小
田原組
大場 得法

小田原組青年会の会長を務めさせていただいているとあります円空寺の大場得法でございます。昨年度は安樂寺の安部龍也会員がご卒業されました。本年度の小田原組は新入会員に栄養寺 松蔭匡俊会員を迎えて十三名で活動して参ります。また、昨年は城前寺・皆川演亮会員、無量寺・小島朗江会員、安樂寺・安部龍也会員の三名がご結婚されました。誠におめでとうございます。

昨年度の事業報告 ①六月につむぎの会（子供を亡くした親のわからいの会）代表 田中幸子先生をお迎えして特別研修会を開催致しました。②九月には親睦会を開催 ③十二月は熱海で忘年会（泊二日）また 年末には恒例の定期的に開催、またお念佛の信仰を深めるため定期的に開催、またお念佛の信仰を深めるため定期的に開催、またお念佛の信仰を深めるため定期的に開催、またお念佛の信仰を深めるため

長
須田 應紀

優勝」という名誉を頂きましたので本年も連覇を狙つていただきたいとおもいますが、いつもの三浦淨青会になつてしまいそうな予感もあります。会員一同、出来得ることを精一杯頑張りますので、本年度もよろしくお願いいたします。



た。④三月には大本山善光寺の参拝研修旅行に向けての勉強会を開催、講師に善光寺・松蔭英宣上人、春光院・石川琢道上人をお迎えしてご指導を戴きました。④二月 布鉢 本年度の事業計画 ①四月十四日～十六日 大本山善光寺の開帳参拝研修旅行 ②十月 親睦会 ③十二月 忘年会・歳末助け合い托

鉢 ④二月 布宣上人、春光院・石川琢道上人をお迎えしてご指導を戴きました。④三月には大本山善光寺の参拝研修旅行に向けての勉強会を開催、講師に善光寺・松蔭英宣上人、春光院・石川琢道上人をお迎えしてご指導を戴きました。④二月 布鉢 本年度の事業計画 ①四月十四日～十六日 大本山善光寺の開帳参拝研修旅行 ②十月 親睦会 ③十二月 忘年会・歳末助け合い托

第32回 神奈川教区長杯争奪スポーツ交流大会

京浜組会長 専修大志



第三十二回神奈川教区長杯争奪スポーツ交流大会（京浜組浄青担当）が、平成二十七年二月九日、とろどきアリーナ（川崎市）のメインアリーナにて開催されました。例年十一月にソフトボールを中心に行われてきた教区長杯でしたが、今大会は日程や会場の都合により、冬の二月に体育館で行うことになりました。室内ではソフトボールは開催できいため、室内競技でかつ運動会のようなスポーツ大会ができるいかということで検討を重ねました。結果、ソフトバレーボール、大玉ころがし、綱引き、組対抗リレーの四種目とし、その総合得点によって優勝を争う形式の大会といたしました。

当日は朝から雪がちらつき、アリーナへ向かう交通への影響も心配されました。教区長はじめ、OB諸先輩、また神浄青年会員の皆様あわせて約八十名の方々にお集まりいただきました。場内に音楽が流れはじめ、各組優勝を目指して気分が盛り上がる一方、不慣れな競技に珍プレー・好プレーが続出。和気あいあいながらも大熱戦が繰り広げられました。

結果、ソフトバレーボールは港南組、大玉ころがしは中郡組、綱引きは小田原組・京浜組合同チーム、組対抗リレーは三浦組と、見事に種目別優勝を分け合うことになりましたが、それぞれの種目で上位争いに絡んだ三浦組が総合優勝となりました。

その後、武蔵小杉にあるホテル精養軒に会場を移し、懇親会が開催されました。横井教区長、北郷教化団長をはじめ、歴代会長、OB諸先輩にもご臨席をいただき、和やかに懇親を深めることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

初めての体育館開催、そして複数種目による大会を企画させていただいたということで、不手際も多々ありました。しかし、皆様のご協力により無事に開催できましたこと、京浜組浄青一同、心から感謝申し上げ大会報告と致しました。誠にありがとうございました。

大本山光明寺開山忌・十夜法要前清掃奉仕



神淨青は浄土宗大本山である光明寺を会処として種々の活動をすることも少なくありません。

その光明寺の大きな法要である開山良忠上人を顕彰する開山忌、また500年以上の歴史を持つお十夜、それぞれの法要の前に行う清掃奉仕は活動の場をお借りしている当会にとって日頃の感謝を表す大切な事業です。

開山忌前（7月2日）には47名、十夜法要前（10月7日）には48名が参加し、光明寺境内の清掃奉仕が行われ、気持ち良く各法要を迎えることができました。また両日とも境内の清掃終了後、材木座海岸の清掃も行いました。



御忌別時念佛会



平成27年1月23日、大本山光明寺大殿において法然上人御忌を控えての別時念佛会が行われました。1月の寒さの中ではありましたが、会員34名が参加しました。暗闇の中で灯火に照らされた阿弥陀様がとてもありがたく感じられ、一心にお念佛をお詠えさせていただきました。会員ともに称えるお念佛はとてもすがすがしく、あらためて法然上人の御遺徳を感じることができました。



大本山光明寺十夜托鉢



本年度も10月14日（火）光明寺十夜法要に合わせ、9名の有志会員の参加をいただき、神淨青十夜托鉢を行いました。前日までに台風の接近が心配されておりましたが、当日は台風一過の快晴のなか、十夜法要が勤められました。や

はり前日までの天気が心配されていたので、例年に比べ参拝の方々は少なかったですが、みなさまから貴重な淨財を頂戴いたしました。頂きました淨財は神淨青緊急災害用特別会計に入金し、適宜、災害被災地に送られます。

平成27年度浄土宗神奈川教区青年会定期総会



平成27年4月24日、大本山光明寺にて午後1時より回顧、引き続き総会が開会されました。総会には、会員49名が出席。第22期伊藤会長より、新たな年度を迎えての挨拶の後、横井隆彦神奈川教区長にご挨拶を頂きました。

議長には鎌倉組関谷泰然会員が選出、平成26年度事業報告・同会計報告、平成27年度事業計画・同事業予算案が審議され、共に承認されました。

各組常任理事によりそれぞれの今年度の事業計画の紹介、続いて卒業会員、新入会員へ会長より記念品の贈呈が行われました。

浄土宗神奈川教区青年会 平成26年度 事業報告

月	日	内 容	場 所
4月	10日(木) 17日(木)	第1回理事会 定期総会・入会式・卒業式	大本山光明寺 大本山光明寺
5月	21日(水)	第2回理事会・新旧役員歓送迎会	華正楼
6月	1日(火) 18日(水)	機関紙「淨青神奈川」第40号発行 ※第41回関プロ淨青総会 並 研修会 担当 埼玉教区	浄土宗神奈川教区青年会 浦和ロイヤルパインズホテル
7月	2日(水) 2日(水) 28日(月)～30日(水)	大本山光明寺開山忌前清掃奉仕 第3回理事会 ※関東教化センター第66回夏期僧堂手伝い	大本山光明寺 大本山光明寺 大本山光明寺
8月	27日(水)	※全淨第10回全国大会 担当 東京教区	東京ドームホテル
9月	12日(金) 17日(水)	第4回理事会 第1回 他宗団見学	大本山光明寺 鎌倉五山(円覚寺・淨智寺)
10月	7日(火) 14日(火) 22日(水)	第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕 十夜托鉢 ※関プロスポーツ交流大会 担当:千葉教区	大本山光明寺 大本山光明寺 ラウンドワン習志野店
11月	4日(火) 27日(木)	※関プロ淨青別時念佛会 ※全淨青別時念佛会	栃木・円通寺 増上寺
12月	1日(月)	第6回理事会・忘年会	聘珍樓
1月	23日(金)	第7回理事会・御忌別時念佛会	大本山光明寺
2月	4日～5日(水) 9日(月) 19日(木)	※全淨第40回 総合研修会 神奈川教区長杯争奪スポーツ交流大会 第2回 他宗団見学	知恩院 京浜:とどろきアリーナ 鎌倉五山(建長寺・寿福寺・淨妙寺)
3月	16日(月) 28日(土)	第8回理事会 寺集～てらつど～	大本山光明寺 大本山光明寺



災害救援募金報告

京浜組	67,425円
港北組	134,159円
港南組	155,252円
高座組	168,771円
鎌倉組	130,563円
三浦組	57,000円
中郡組	36,000円
小田原組	86,193円
各組合計金額	835,363円

ご協力ありがとうございました。

卒業会員挨拶



高座組 梅雪寺
鷺見 宗信

振り返るとあっという間の期間でした。仕事のため十分な活動はできませんでしたが、参加できた数少ない事業は今も鮮明に覚えています。受け入れ、支えて頂きました会員のみなさまに感謝申し上げます。



鎌倉組 称名寺
成実 洋史

「光陰矢の如し」使い古した慣用句ではあります、正にその通りで本当に早いものです。青年会に入会し既に20年を経てしまいました。この度卒業にあたり、活動期間の間に得させて頂いたモノの大きさを考えますと、諸先輩や同輩・後輩達に色々ご指導ご鞭撻を賜りました事が有り難く、只々感謝の念を抱くのみです。

現役会員の皆々様も、良き仲間とお互い支え合い切磋琢磨しながら、益々の会のご発展をご活躍を祈念致します。

相談役の任期があと1年残っていますが、会員としては卒業になります。

入会以来、お世話になったみなさまに心より御礼申上げます。特に会長を務めさせていただいた際は、大勢の方々に支えられて任期を全うすることができたと感謝しております。

これから的人生で、浄青活動で得た経験を活かし、結んだ縁を大切にしていきたいとおもいます。



鎌倉組 延命寺
當間 伸行

神浄青を卒業することになり、会員の皆様には大変お世話になりました。

会社勤めのため、神浄青の多くの事業活動に関わることができなかつたことは残念におもっております。

これからのみなさまの益々の発展をご活躍を祈念いたします。



鎌倉組 長善寺
野中 篤道

約20年間、参加させて頂いていた浄青会も、卒業の年になりました。

浄青会に在籍させて頂き、1ヶ寺の副住職・住職では経験出来ないであろう、様々な事を経験させてもらったことは、大切な人生の財産になりました。ありがとうございました。ますますのご発展をお祈りいたします。



三浦組 福本寺
山本 宗純



高座組 正福寺
上田 真彦

浄土宗僧侶として自分自身と仲間、そして世の中とどのように向き合べきかを仕事や経験を通じて知ることができました。浄土宗僧侶のための第2の学校、それが「浄土宗青年会」であろうかとおもいます。

今後は少子化という厳しい事情もあるかとおもいますが、仲間、そして経験というかけがえのないものを大切に存続できることを願っております。



鎌倉組 大長寺
岳瀬 弘昌

私は、20代後半に、僧侶となり、浄青活動に参加しました。

同期の仲間と呼べる人が、ほぼいない私にとっては、浄青活動を通して僧侶としての幅を広げ、信頼出来る先輩、後輩、仲間を広げることが出来ました。私にとっては、掛け替えのない財産となっています。



鎌倉組 蓮乗院
吉田 佳之

今年度浄青を卒業する事になりました。

約20年間、会員をしてまいりましたが、あまり積極的に参加する事はしませんでしたが、先輩や同学年の仲間や後輩にも恵まれ色々な経験をさせていただきました。

これからも、どうぞよろしくお願ひ致します。



三浦組 光徳寺
清水 光司

神浄青に入会させて頂きました、御蔭様で県内の御上人様を存じ上げる機会をたくさん頂戴致しました。また独特の和があると言われる程、三浦組上人方には可愛がって頂きました。自坊での法務も神浄青での活動を糧に勤めさせて頂きました。どうもありがとうございました。



小田原組 安楽寺
安部 龍也

青年会の活動を通して、たくさんの学びと経験を得ることができました。托鉢、お練り、法式や仏教史の研修、晋山式、伝戒授与の催しなど思い出は尽きません。仕事の関係でなかなか参加できず迷惑をおかけしましたが、心温かい会員のみなさまに支えられて貴重な経験を共有させて頂きました。みなさまに心より感謝申し上げます。



①山澤 真弘(やまざわ しんこう)
②平成 3年5月
③平成24年12月
④港南組 西立寺
⑤O型
⑥ピーマンの挽き肉詰め
⑦マー君、マサ
⑧バドミントン・海釣り
⑨お笑い芸人全般



①松原 大悟(まつばら だいご)
②平成2年12月
③平成25年12月
④三浦組 福泉寺
⑤B型
⑥餃子
⑦だいちゃん、だいご
⑧釣り・バスケットボール
⑨綾瀬はるか



①松蔭 匠俊(まつかげ きょうしゅん)
②昭和61年12月
③平成22年12月
④小田原組 栄善寺
⑤O型
⑥蕎麦、さっぱりしたもの
⑦まっちゃん、かげさん
⑧音楽、読書
⑨TOKIO



①奥田 喬應(おくだ ぎょうおう)
②平成5年9月
③平成26年12月
④港南組 金台寺
⑤A型
⑥もんじゃ
⑦お好きにお願いします
⑧音楽・バンド・ファッション・楽器
⑨乃木坂46・星野みなみ・アイドル全般



①橋下 祐香(はしした ゆうこう)
②平成5年10月
③平成26年12月
④港南組 淨念寺
⑤不明
⑥桜道明寺
⑦じゅり(ちゃん)
⑧イラストを描くこと
⑨城田優



①安田 裕美(やすだ ゆうび)
②平成2年5月
③平成26年12月
④港南組 来迎寺
⑤A型
⑥スイーツ
⑦ひろみ
⑧ピアノ
⑨NEWS



①富田 昭久(とみた しょうきゅう)
②昭和63年10月12日
③平成21年12月
④鎌倉組 宗円寺
⑤O型
⑥ラーメン
⑦アキ
⑧旅行・映画鑑賞
⑨Dwayne Douglas Johnson

平成27年度 淨土宗神奈川教区青年会 事業計画

月	日	事業内容	場所
4月	13日(月)	第1回理事会	大本山光明寺
4月	24日(金)	定期総会・入会式・卒業式	大本山光明寺
5月	19日(火)	第2回理事会	大本山光明寺
5月	21日(木)	三大本山・関プロ浄青別時念佛会	大本山増上寺
6月	19日(金)	第3回 他宗団見学	江島神社
6月	24日(水)	●第42回関プロ浄青総会 並 研修会 担当:茨城教区	オークラフロンティアホテルつくば
7月	1日(水)	機関紙「浄青神奈川」第41号発行	浄土宗神奈川教区青年会
7月	1日(水)	大本山光明寺開山忌前清掃奉仕	大本山光明寺
7月	1日(水)	第3回理事会	大本山光明寺
7月	29日(水)~31日(金)	●関東教化センター第66回夏期僧堂手伝い	大本山光明寺
9月	2日(水)~ 3日(木)	●全淨第11回全国大会 担当:山口教区	未定
9月	8日(火)	第4回理事会	大本山光明寺
10月	1日(木)	第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕	大本山光明寺
10月	14日(水)	十夜托鉢	大本山光明寺
10月	30日(金)	三大本山・関プロ浄青別時念佛会	善光寺大本願
11月	11日(水)	●関プロスポーツ交流大会 担当:群馬教区	ももの木川グラウンド
12月	3日(木)	第6回理事会・臨時総会・忘年会	未定
1月	22日(金)	第7回理事会・御忌別時念佛会	大本山光明寺
2月	未定	第4回 他宗団見学	未定
2月	未定	●全淨第41回 総合研修会	未定
3月	4日(金)	第8回理事会	大本山光明寺
	未定	神奈川教区長杯争奪スポーツ交流大会 担当:港北組	未定
	未定	「寺集～てらつど～」	大本山光明寺

※ボランティア活動は、緊急災害時以外にも、不定期で行う予定。



神浄青ホームページ.
www.jodo-kks.com



Find us on
Facebook
フェイスブック 始めました

第22期 神浄青 編集委員



編集委員長
三浦 康志

野呂 宗幸

大橋 雄人

香川 隆真

坂本 慎成

鳥居 淳生

三浦 正順

小川 勉道

竹石 光流

神浄青ホームページ.
www.jodo-kks.com

神浄青

検索

